

# 京 たなべ 市議会 だより

令和6年第1回定例会 第185号



令和6年第1回定例会には、市長報告6件、同意案3件、令和6年度一般会計予算案を含む議案28件が上程されました。開会日には、市長から6年度の施政方針演説があり、2日目には施政方針演説に基づき、各会派から代表質問を行いました。

常任委員会に審査を付託された議案は、総務常任委員会には、「福祉医療費の支給に関する条例の一部改正」など5件、文教福祉常任委員会には、「介護保険条例の一部改正」など3件、建設経済常任委員会には、「都市公園条例の一部改正」など5件についてそれぞれの委員会で審査が行われました。

また、13件の予算案を審査する予算特別委員会（田原延行委員長、河田美穂副委員長）が設置され、4日間にわたる審査の結果、付託された13件は全て可決すべきものとして答申されました。

3月28日の閉会日には、予算案を含む26議案の全てが可決されました。また、同日、議員発議案1件、意見書案1件が上程され、2件とも全会一致で可決されました。

※採決結果は最終ページに掲載しています。

02-03

代表質問



市長の考えに対する議論の結果は？

04-06

一般質問



議員って普段どんなこと考えてるの？

07-09

予算特別委員会



予算の質疑応答は？

10-11

常任委員会



専門的に話し合われた内容は？



京田辺市議会  
公式Facebook



# 上村市長の施政方針演説



私の政策理念「みんなが住み続けたいと思えるまち」と、本市の目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」を実現するために、2期目の選挙公約に掲げた施策を「中期まちづくりプラン」として取りまとめ、「行政改革」と両輪に、新たなまちづくりをスタートさせます。

▼3つの重点プロジェクト  
次の3つのプロジェクトを柱に、施策事業を展開します。

▼次の世代を育てることもまんなかのまちづくり  
一体的で切れ目のない子ども・子育て支援を推進するとともに、質の高い教育の実現と学童保育のサービス向上に取り組みます。

▼つながりと安心のまちづくり  
市民協働を推進するとともに、イベントなどを通じて人と人との絆づくりに取り組むほか、住み慣れた地域で安心できる暮らしを実現します。

▼持続可能で魅力ある都市づくり  
脱炭素社会の構築に取り組みとともに、自然と調和したコンパクトな都市構造の形成を進めます。また、交通便利性に優れた利点を生かし、快適な移動・交通環境の整備を進めるとともに、新名神高速道路の全線開通を見据えて、企業立地のための基盤整備などを推進します。

行政改革の取組み  
「多様な主体との協働・パートナーシップ構築」「デジタル技術の活用と人材育成による行政運営の質の向上」「持続可能な財政構造の構築」を基本方針に「行政改革」を推進し、適応力の高い職員を育成することで、効率的でスピーディーな行政運営を進めます。

職員と一丸となって誰もが幸せに暮らせるまちに  
未来を支える子どもたちが元氣いっばいに暮らせて、誰もが取り残されることなく幸せに暮らすことができる「わくわくする京田辺」をつくります。

全文はホームページに掲載しています

# 市長の施政方針演説に対する代表質問

代表質問とは、定例会初日に示された市長の施政方針演説に対して行う質問のことで、会派の代表者が行います。市長の施策等に対する活発な議論が展開されました。



自民一新会 橋本善之議員  
組織力と実行力で施策展開を

本市は6年先には人口がピークを迎え、その後は緩やかに減少すると言われていて、一方で本市周辺では新名神高速道路などが着実に社会資本が整備されている。今後大きく状況は変化する中で、どのような観点で行政改革と財政改革を推進されるのか。  
市長 限られた行政資源を基にこれまでと同等以上の成果をいかに生み出すか。市民や各種団体、大学、企業とも連携し、ともにまちづくりを進めることが重要。併せて、市役所の組織力、職員の能力向上にも取り組み、将来にわたって持続可能な行政運営

と、質の高い行政サービスを提供していき。  
庁舎内に活気が感じられない。新たな取り組みをするにも職員間で、できない理由が先に立ち、結局は新たな挑戦をしないといったことが散見される。特に若手職員の意見、発想を拾い上げるなど組織のマネジメントが重要。  
副市長 部局をまたがる業務は増える一方で若手職員の発想は重要と認識。若手でプロジェクトを組むなどにより前向きな議論も引き出したい。  
「仮称」新しい学校づくりプランの具体的内容は、  
学校環境整備に関する方針を定めるものとしており、学校教育審議会の議論を踏まえた学校の規模や配置の適正化を始め、教室などの学習環境整備、プールや給食調理室などの学校付属施設の在り方などについて、基本的な考え方を柱に定める。



日本維新・南部 早川由紀夫議員  
新たなまちづくり施策について

新たなまちづくりを進めるに当たっての行政改革や市財政負担への認識を問う。  
市長 行政改革を加速し、施設の長寿命化や受益者負担の適正化等に取り組む。経常収支比率は厳しく、市債残高



公明党 向川弘議員  
大規模災害に備えて一斉訓練を

本市では大規模自然災害に、どのように対応する考えか。福祉避難所を含めた市内一斉訓練を実施し情報通信連携、医療体制、備蓄品数の確認等を実施すべき。  
市長 市内一斉訓練は大変重要。市内7カ所の施設と福祉避難所の協定を結んでいる。避難所開設時は保健師が避難所を巡回し健康管理を行う。防災行政無線の自主防災組織等への操作説明のほか令和5年度は自衛隊との通信訓練も行った。備蓄品は地域防災計画に基づき管理している。  
胃がん検診で内視鏡検査を選択する条件や市民が負担する費用、実施内容を問う。  
50歳以上の方に2年に1回、胃部エックス線検査か胃内視鏡検査を選んでもらう。個別検診で自己負担額は3,000円。70歳以上の方、非課税世帯の方は免除。  
普賢寺地域の「放課後ひろば事業」の時間帯を問う。  
保護者の就労等により昼間留守になる家庭の児童に居場所を提供する。平日は午後6時30分まで、土曜日は午前8時から午後5時30分。  
学校給食センターによる中学校給食の進捗状況とアレルギーへの対応を問う。  
6年4月中旬に給食提供を開始する予定。食物アレルギーは調査と面談を行い、安全性を最優先に対応する。  
小・中学校体育館の空調設置スケジュールを問う。  
6年度に実施設計。7年度に市立全小・中学校12校の体育館等へ設置予定。



日本共産党 岡本亮一議員  
長距離ミサイルの整備に反対を

不登校児童・生徒への設けるよう調整している。  
不登校児童・生徒への愛着を感じていただくためワークショップ等の開催を通じ、区・自治会と協働を進める。  
学校給食時間が短いとの声がある。  
文科省の手引きに基づき各校とも30分の時間確保を  
街路樹のモデル地区を設定し、愛着を感じていただくためワークショップ等の開催を通じ、区・自治会と協働を進める。  
学校給食時間が短いとの声がある。  
文科省の手引きに基づき各校とも30分の時間確保を

周辺住民のみならず、自分の土地がどうなるのかという懸念は当然であると思う。その部分については、近畿中部防衛局にしっかりと懸念を伝える。  
市民の暮らしの実態についての認識は。  
物価上昇などから、暮らしへの影響が生じているものと認識している。  
義務教育の無償をうたった憲法第26条を踏まえ、学校給食費を無償に。  
学校給食法において、給食食材の購入に係る経費分（食料費）は、保護者の負担としていことから、給食費の無償化は考えていない。



NEXT京田辺 菊川和滋議員  
改めて自助共助の重要性を

能登半島地震を踏まえ、本市で同様の事案が発生した場合の対応について、改めて確認することが必要。支援に行かれた職員の出前講座を実施する等、広く市民に現地の様子を伝えることで、自助・共助の重要性を育む時と考える。新たな試みとして、分散備蓄を推進してはどうか。

被災状況の把握と受援体制の構築が必要。支援に行った市職員等の情報共有の場を設け、区・自治会長には令和6年1月末頃に派遣職員より報告した。引き続き自主防災会の設立等に取り組んでいく。分散備蓄については地域要望に合わせたい。  
木造住宅耐震改修工事費補助金の増額の詳細は。府と市が各々上乗せし、現行100万円を最大150万円の補助とする。  
緑の基本計画について進捗状況と主たる内容を踏まえ、年度内に策定。公園や





# 市議会議員の一般質問をしてみよう

市議会議員が市に対して、将来の方針、政策の内容や執行の状況などを直接質問するものです。行政に関することのほか、地域の生活に密着していることなど多岐にわたる質問がされています。  
※議員から提出された要約原稿を掲載していますので、詳細については各議員にお問い合わせください。緑色の用語の解説は6ページに記載しています。

## 国重昂平議員 自民・新会 災害時対応について

○ 令和6年能登半島地震に対する支援状況は。  
○ 消防47名、上下水道部5名、希望者9名が七尾市で支援を行った。  
○ 本市の災害対策状況は。  
○ 2年に災害廃棄物処理計画を策定した上で、近隣市町村や民間事業者と協定を結び、災害廃棄物等の処理に備えている。水道施設の耐震化に関しては、重要部分から優先し耐震化を行っている。  
○ 市立幼稚園が統廃合された時に、生じる通園距離に対する市の対策は。  
○ 車通園を認めることも視野に入れている。  
○ 市内の市立と民間の幼稚園・保育園と小学校が連携した施策が行われているが、市外の民間とは連携体制にな

い。これに対する市の認識は。  
○ 市外民間との連携も重要なことであり、考えていきたい。現状小学校の担当教員が入学予定児童を民間事業所へ見に行っている。  
○ 田辺北の新市街地整備の組合や地権者への支援は。  
○ 市の補助金や交付金を活用し、事業費の助成を行い、造成工事等の事業期間中の固定資産税等の免除などを行い支援する。  
○ 新田辺駅東側の今後について市の認識は。  
○ 安全な歩行空間を確保し、食料品や日用品などの小売店、各種の生活サービス店の立地や、子育て世代を呼び込む住宅供給などの機能確保を目指した地域の生活拠点としての再整備を促したい。

度以降も継続する予定。  
○ 田辺東幼稚園・小学校前防賀川間、特に通学時間帯は抜け道として通行車両が非常に多く、スピードも問題。ランプ等のスピード抑制の仕組み・路面表示が必要である。市の見解を問う。  
○ 社会資本整備総合交付金を活用し、赤梓白文字による「速度落とせ」の路面表示設置に向け、6年度に予算を計上した。  
○ 市内の市道及び府道において、センターラインや歩道ライン、横断歩道とその停止ライン、通学路はゾーン30等の路面表示が消えて見えない箇所が多い。交通事故等、非常に危惧する。早急な安全対策が必要。市の対応を問う。  
○ 横断歩道、停止線は交通管理者が維持管理しているため、市道や府道の区別なく引き続き田辺警察署に対応を依頼する。

## 早川由紀夫議員 日本維新・南部 地震への備えと今後の対策を

○ 田辺高等学校の生徒を対象に、市内企業との交流会や職場体験等の事業を実施しているところ、商工会やハローワークとの連携を行う中で雇用支援に努めていきたい。  
○ 高齢者の生きがいづくりや就業機会の創出を問う。  
○ シルバー人材センターへの助成や連携のほか、仕事とくらしの相談室で就労や社会参加の案内を行っている。  
○ 障がいのある人の社会参加や就労支援の進捗は。  
○ 就労や社会参加、働き方への意向等を踏まえ、関係機関と連携して就労支援に取り組んでいる。京田辺クロスパークにおける就労の場の拡大や京田辺みんなの働くプロジェクトとの連携のもと、新たな支援を進めていきたい。  
○ 避難所運営訓練や個別マンニアルの策定に加えて、避難行動要支援者名簿登録制度の実施を進めていきたい。  
○ 避難所や公民館等の耐震化等の安全対策を問う。  
○ 施設の耐震化目標は達成しており、避難所開設時には耐震性や安全を確認する。  
○ 市内事業所の人材確保に対する雇用支援の施策は。

○ 水道施設耐震化の進捗と飲料水の確保方法を問う。  
○ 公営企業管理者職務代理者  
○ 耐震化率は、浄水場約79%、配水池約55%、基幹管路約47%で、耐震化を進めている。飲料水は、非常時の応急給水や日本水道協会を通じた広域支援で確保していきたい。  
○ 災害時の要配慮者への避難支援に向けた取り組みは。  
○ 避難所運営訓練や個別マンニアルの策定に加えて、避難行動要支援者名簿登録制度の実施を進めていきたい。  
○ 避難所や公民館等の耐震化等の安全対策を問う。  
○ 施設の耐震化目標は達成しており、避難所開設時には耐震性や安全を確認する。  
○ 市内事業所の人材確保に対する雇用支援の施策は。

## 増富理津子議員 日本共産党 介護保険料引上げはやめるべき

○ 年金が実質引き下げられ、物価高で生活はより苦しくなっている。このような生活実態からも介護保険料の引上げはすべきではない。本議会で提案されている議案によるとほとんどの所得階層で値上げとなっている。現在ある基金をさらに活用し、保険料試算の見直しをすべき。  
○ 将来的な引上げ幅を見据えた中で、基金の一部を取り崩し、保険料の抑制を図っている。低所得者の保険料については負担増とならないよう配慮したい。  
○ 高齢者の補聴器購入に対する補助事業の具体的内容を問う。  
○ 65歳以上の身体障がい者手帳の交付対象とならない聴力レベル平均値が40デシベル以上70デシベル未満、また両耳の聴力の平均値レベルが40デシベル未満であっても、補聴器の使用が必要であると医師に診断をされた方を対象に、上限を2万円とし、補聴器購入費用の2分の1を助成する制度である。  
○ 近鉄新田辺駅東地域ではスパーがなくなり、高齢者や障がい者など住民から、不安と店舗誘致への声が上がっている。整備と活性化が急がれる中、改めて駅東のまちづくりについて問う。  
○ スーパー跡の新たな所有者が決まった。地域の生活拠点の再整備を目指し、食料品などの小売店等の立地や、安全な歩行空間の確保に向けて、民間活力を最大限活用できるような協議を進めていく。

## 上田毅議員 日本維新・南部 田辺東小学校前の市道について

○ 田辺東小学校・田辺東幼稚園が隣り合わせにあるが、今後、園内河原保育所分園の閉鎖に伴い警備員解除と伺っている。交通量の調査集計では、登園時間帯の4日間では572台、バイクを合わせると636台にもなる。この警備員解除は、小学校及び幼稚園の通学路として危険がないと考へてのことなのか問う。  
○ 通学路の安全確保につきましては、小学校・幼稚園前の市道東室垣外線、この市道の2カ所において、シルバー人材センターへの委託による通学安全整理員を登校時間帯に配置しており、令和6年



接触事故が危ぶまれる道路

## 河田美穂議員 公明党 高齢者施策の拡充をすべき

○ 祖父母手帳の導入を。  
○ 子育て事情の違いや子育て方法の変化、サポートのポイントなどをまとめたいわゆる祖父母手帳を配布する。  
○ 高齢者社会参加促進事業のさらなる周知徹底と金額の拡充、申し込み期間や使用期間の延長をすべき。  
○ 広報への掲載時期を早めるなど工夫していく。  
○ 高齢者生活応援事業の周知と防災対策への拡充を。  
○ 防災対策としても活用できるよう改めて周知する。  
○ 高齢者の自動車運転実践型講座の積極的な取り組みをすべき。  
○ 来年度の開催について検討していく。  
○ 自転車講習会の実施及び参加者への、自転車ヘルメットへの助成をすべき。  
○ 関係機関と協議を行い、講習会などの実施について検討。ヘルメット着用の機運の成熟とあわせて研究を進める。  
○ 防災士向けのマイタイムライン講習会を実施し、講習を受けた防災士を講師として、地域でマイタイムライン講習会を普及する取り組みを。  
○ マイタイムライン講習会も防災士の研修科目の一つとして実施機関と検討する。  
○ 不登校児童・生徒へのアウトリーチ（訪問）支援は。学校とも連携して教育支援センターへの通所が難しい児童・生徒へ対象を広げる。  
○ 家から出にくい児童・生徒へのリモート学習は。  
○ 希望があれば対応できるように環境を整えている。

## 次田典子議員 無会派 大住ヶ丘への道路拡幅の影響は

○ 山手幹線4車線部分を西へ伸ばせば大住ヶ丘住宅地に多大な影響が出る。生活道路への進入車両増大や自転車と歩行者の接触事故の拡大。大型スーパーに行く車の増大を考えたら渋滞は解消しないと思わないのか。  
○ 2024年度、大住ヶ丘1〜5丁目と健康ヶ丘自治会への住民説明会を実施。  
○ 同志社山手のデータセ

## 長田和也議員 NEX T京田辺 地域資源の活用について

○ 天理山古墳群及び甘南備山等の活用について、地域資源を複合的に連携させ、魅力を引き出す整備と、一帯を観光エリアとして、総合的に整備すべきと考へるが、市

## 南部登志子議員 日本維新・南部 今回の一番の被害者は利用者

○ さんさん山城の虐待認定。①多くの市民に愛され利用されてきた、さんさん山城についての評価。②前議会で市が3つの虚偽答弁をした理由。③被虐待者とされる方は、他利用者から金品を脅し取っていた。脅し取られていた方からも聞き取りを行なうなど再調査を。④無償譲渡先の法人は老人ホームを運営する解放同盟。そこがなぜ就Bなのか。工賃は月3000円の固定で大幅引き下げになる。市の見解は。⑤障害者虐待防止法が過度に秘密主義になることで、冤罪を生んだり、認定の詳細を隠して他の意図で以

観光消費の機会を十分に提供できていないと考へている。特産品販売などの、観光・交流による賑わいの可能性や、仕組みづくりを検討していきたい。  
○ 地域公共交通活性化について、令和5年度に実施された事業の評価は。  
○ 路線バス利用促進施策のうち、路線バス無料の日は3日間で2万4000人の利用があり、普段利用されない方が乗車される機会になった事は大きな成果。バスポイント付与事業では、約4200人の申し込みがあり、利用促進の有効な施策となったと考へる。  
○ 田辺高等学校の生徒を対象に、市内企業との交流会や職場体験等の事業を実施しているところ、商工会やハローワークとの連携を行う中で雇用支援に努めていきたい。  
○ 高齢者の生きがいづくりや就業機会の創出を問う。  
○ シルバー人材センターへの助成や連携のほか、仕事とくらしの相談室で就労や社会参加の案内を行っている。  
○ 障がいのある人の社会参加や就労支援の進捗は。  
○ 就労や社会参加、働き方への意向等を踏まえ、関係機関と連携して就労支援に取り組んでいる。京田辺クロスパークにおける就労の場の拡大や京田辺みんなの働くプロジェクトとの連携のもと、新たな支援を進めていきたい。



# 令和6年度の予算審査



## 予算特別委員会の開会



予算特別委員会（田原延行委員長、河田美穂副委員長、有田幸平、菊川和滋、国重昂平、長田和也、早川由紀夫、増富理津子の計8名）は、3月12日、13日、15日、21日の4日間にかけて委員会を開催し、付託された令和6年度一般会計予算案を含め13件の予算案について審査を行いました。

最終日には、会派による総括審査を行った後採決が行われ、予算案を全て認定、可決すべきものと決しました。審査を踏まえた会派別の意見は8、9ページに掲載しています。主な審査内容は下欄に記載しています。また、二次元コードから動画で会議の様子を見ることができます。

予算特別委員会では、専門的な内容を分野別に審査します。  
**総務分野**では、市の財政状況や企画、職員、市民参画、消防、防災や監査などに関する事、**文教福祉分野**では、学校や保育所・幼稚園、社会教育、福祉などに関する事、**建設経済分野**では、都市計画や産業の振興、農業、上下水道などに関する事を集中的に審査しています。

## 部局別審査

※委員長から提出された主な審査内容を掲載しています。

### 総務分野

**Q** DX推進により、市民の利便性向上、人員不足解消、事務の効率化を進めていくには

**A** 京都府デジタル人材支援事業活用と民間から助言を受け進める。

**Q** 災害備蓄品の見直しは分散保管だけでなく生理用品や紙おむつなど、直ちに必要なものの備蓄は

**A** 防災備蓄品のさらなる充実や分散保管については、自治会とも協議しながら検討する。



### 文教福祉分野

**Q** 6年度から始まる培良中学校特色化事業の具体的な内容は

**A** 大学教授による理系授業、部活動の講師招へい、農業体験、英語アプリケーションの導入などを行う。

**Q** 小・中学校給食物価高騰支援事業は国の交付金を活用しているが、交付金が無くなった場合は

**A** 保護者に負担を求めるが、急激な負担増とならないよう引き上げ方について検討する。



### 建設経済分野

**Q** 路線バス利用促進策として本市が行っている仕掛けは

**A** 路線バス無料の日、路線バスポイント付与事業などを実施している。今後もバスバックヤードツアーなど検討する。

**Q** 障がいがある子どもなども一緒に遊べるインクルーシブ遊具の設置に向けた取り組みは

**A** 田辺公園ヒコーキランドに設置している全ての既存遊具をインクルーシブ遊具に更新する。



**青木 綱次郎 議員 日本共産党**  
**府南部消防指令共同化は中止を**  
**Q** 府南部9消防本部・組合の消防指令センターを一箇所にまとめる共同化で119受信回線数、指令台数はほぼ半減する、中止を。一箇所にまとめるリスクもあるが、そのメリットとデメリットは。

**答** メリットは、9消防本部の境界付近からの通報で転送が必要なくなる、速やかな消防相互応援が可能、最新技術導入で効果的で迅速な災害対応、整備費や維持管理経費など削減。デメリットはない。



**Q** ①職員の人員確保が課題。今後、松井ヶ丘留守家庭児童会を民間委託し、市職員を再配置する。②引き続き地域の方々の協力を得て、全校で放課後子ども教室の開催に努める。③5年度より、新たに大住こども園で体調不良児対応型保育事業を開始した。

**答** 現時点で予定はないが、こども家庭センターを設置し、子どもの権利について理解促進や相談体制の強化を図る。

**吉高 裕佳子 議員 無党派**  
**こどもまんなか社会を目指して**  
**Q** 第3期子ども子育て支援事業計画とこども計画の策定をどのように進め、こどもまんなか社会を目指すのか。

**答** 「こどもまんなか社会」は、温かい家庭的な雰囲気でも多くの方が利用している。「とんとん・ママ」では、訪問相談支援を行い、子育て世帯の孤立を防いでいる。ファミサポは会員のマッチングにより、送迎や預かりが主な活動。いずれも人材の確保と育成が課題。



誤りはない。④市として関与できることではない。⑤法に基づき対応。不適切な対応の改善を目指し、よりよい施設

をつくっていくためのもの。⑥新しい法人は、さんさん山城の考え方をそのまま継承しながら運営を行なうと聞いた。

**Q** 一部の路線バスが廃止される。今後さらなる路線廃止が懸念されるが市の見解は。

**答** 今後も減便や路線廃止の可能性は高くなっている。市として出来る限りの運行負担金の増額や、利用促進に向けた取り組みをこれまで以上に実施する。

**有田 幸平 議員 日本維新・南部**  
**新田辺東地区の今後の課題は**  
**Q** 新たな集客のための都市機能の導入が必要と考えるがどうか。

**答** 地権者の意向を十分に踏まえながら、今後一定エリアの絞り込みを行う事が重要。市としても出来る限りの支援をしており、地域のほうからお声があれば極力協力をするという形でお話を頂ければと考えている。



**Q** 京田辺市と枚方市でつくる枚方京田辺環境施設組合は、2026年度から、同組合が枚方東部清掃工場の運営も担うとされている。①その理由を問う。②枚方東部清掃工場の運営経費を京田辺市が負担することはあつてはならないと考えるが市の見解は。

**答** ①京田辺市と枚方市の両市で発生する可燃ごみは、枚方京田辺環境施設組合で一体的に処理することが合理的。②東部清掃工場の運営について京田辺市が費用負担するということはない。

南部消防指令センターが機能不良になった場合は、119通報が各消防本部に転送できる仕組みを考えている。

**Q** 危険な盛土を全国一律の基準で包括的に規制する盛土規制法による規制区域指定を京田辺市全域で行うよう京都府に求めるべき。

**片岡 勉 議員 NEXT 京田辺**  
**更なる空き家対策の実施を**  
**Q** これまでの空き家対策の取り組み状況は。



**答** 空家等対策計画に基づき、各種対策を順次実施。具体的取り組みは、空き家問題に関する意識啓発、空き家・空き室無料相談会の実施や空き家・空き室バンクの運営、法定協議会設置等である。

**Q** 関係法令の改正を踏まえた今後の対策の方向性は。

**答** 関係法令の改正に伴う本市の方針を固めた後、庁内検討会議や空家等対策協議会などで協議・検討の上、必要に応じて条例改正を行う。

**Q** 学校教育審議会で学校の生徒数偏在解消に向け、子どもの意見聴取が望ましいとされた。意見聴取の検討は。

**答** 今後、聞き取り内容や方法について検討の上、学校が活用できるような方法として活用が課題である。

**Q** 学校施設等総合管理計画における市全体の資産状況を把握に活用。今後は、公共施設の在り方を検討する際の資料としての活用が課題である。

**答** 統一の基準による財務諸表書類の活用状況と課題は。

## 一般質問・用語の解説

**就B(就労継続支援B型)5ページ**  
**Q** 一般企業に雇用されること  
**答** 就労継続支援B型は、雇用契約が困難であつて、雇用契約に  
**就B(就労継続支援B型)6ページ**  
**Q** 保護者に負担を求めるが、急激な負担増とならないよう引き上げ方について検討する。

**Q** 公共施設等総合管理計画における市全体の資産状況を把握に活用。今後は、公共施設の在り方を検討する際の資料としての活用が課題である。

**Q** 統一の基準による財務諸表書類の活用状況と課題は。

**Q** 大規模校(三山木小学校)の環境改善対策は。



# 総括審査 会派からの意見

## NEXT京田辺

### 共生社会をめざした事業推進を

Check!

教育現場では小・中全校への体育館空調導入計画や中学校給食の展開など高く評価する。今後も子どもをまんやかに笑顔あふれるまちづくりに向け、家庭・学校・地域の三位一体となった、「子どもまんなか応援サポーター宣言都市」となるよう推進されたい。

また市民が共感し住み続けたいまちを目指し、歴史ロマン・文化を生かしたまちづくりを展開されたい。

今予算では従来事業に加え 29 項目もの新規事業がある。「書かない・行かない窓口」等、市民サービスの向上に取り組むとともに、事業の推進に当たっては、安全安心をベースとされるよう重ねて要望し令和6年度予算案を支持する。



本市では、予算特別委員会の最終日に予算全体の総括的な審査及び採決を行っています。

令和6年度一般会計予算などについて、5つの会派から多岐にわたる質疑が行われました。

以下、各会派から提出された意見を掲載しています。

## 日本共産党京田辺市議会議員団

### 市民の命と暮らしを守る市政に

Check!

予算全体として市民のいのちと暮らしを守る姿勢が不十分。介護保険料、後期高齢者医療保険料の値上げが同時に実施され、重い負担が高齢者に押しつけられる。子育て支援が重点といいながら、学校給食無償化には冷たい姿勢。バスの減便や路線廃止、鉄道会社での人員削減等、公共交通が後退する一方で、巨額の地元負担が予想される北陸新幹線延伸計画、北陸新幹線新駅設置は推進。

市民に重い負担を押しつける国の施策に対し自主性を発揮し、祝園弾薬庫への長距離ミサイル保管庫計画をはじめ、北陸新幹線新計画の推進、消防指令共同化の推進など市民の立場に立って中止を求めるべき。

## 自民一新会

### 職員一丸となったまちづくりを

Check!

本市周辺地域では新名神高速道路など社会資本が着実に整備進行している中、令和6年度からは「第4次総合計画中期まちづくりプラン」と新「行政改革大綱」がスタートし、数多くのプロジェクトによりまちづくりが大きく動き出す。成長都市京田辺を盤石なものとするために、すべての市民が住んでよかったと思える施策の展開が重要である。

今般の当初予算には、会派の方針に沿った数多くの事業が計上されており高く評価している。市長におかれては職員一丸となって、組織力をより一層強化し、迅速かつ適切な予算執行が行われるよう強く要望する。

## 公明党

### 自治会加入の促進施策が必要

Check!

財政が厳しい中、胃がん検診に内視鏡検査追加、高齢者補聴器購入助成、普賢寺地域での放課後ひろば事業実施、中学校給食のスタート、小中学校体育館へ空調設置実施計画など、公明党が要望した事業が盛り込まれた予算編成を評価する。

その上で、保育所待機児童解消対策、不登校・いじめ対策では相談とアウトリーチ支援の拡充、高齢者の健康寿命延伸の施策の充実をすべき。

市内を走る公共バスに乗車する方を増やす施策の拡充、「共助」を進めるために防災士の研修に加え、自治会の加入率を上げる施策が必要である。施策の周知徹底のための広報・HPの充実をすべき。

## 日本維新の会・無所属南部の会

### 市民サービスが向上する施策を

Check!

公共の建物設備やインフラの強靱化、治水対策、防災訓練の充実や備蓄品の供与システム構築による危機管理の強化と防災・減災施策の推進を求める。

子どもたちが郷土に愛着を持ち、誇りを持って巣立っていける環境づくりが重要と考える。次世代への徹底した投資や教育環境の整備充実を要望する。

市内事業所の人材確保や農業の担い手不足に対する雇用対策、高齢者や障がいのある人の生きがいづくり、就労等支援の新たな取り組みが必要である。

区・自治会の意向に沿ったまちづくり、コミュニティ活動やデジタル化、街区公園管理の取り組み支援及び災害時要配慮者への対応が求められる。



# 文教福祉常任委員会

付託議案 議案 第5号・第7号  
第8号

## 主な質疑内容

●議案第5号 京田辺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
国の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準が改正されたことに伴い、当該基準を踏まえて定める本条例について所要の改正を行うもの

問 運営規程などの重要事項をインターネットによる縦覧を可能とする変更にあたり、個人情報の保護との関係や施設の事務負担等について確認する。

答 公表には個人情報に含まれず、施設の事務負担もない。

●議案第7号 京田辺市介護保険条例の一部改正について

令和6年度から令和8年度までの期間における介護保険料率を定めるとともに、市町村特別給付における支給内容等を変更するもの

問 本改正でこれまでの保険料の設定段階が第13段階から第16段階に拡大する理由や、保険料率設定の考え方は。

答 所得再配分の考え方から設定。第1段階から第3段階までの比較的所得者が対象となる段階は引き下げ又は前期から据え置くこととし、第4段階以降は引き上げを行うもの。

●議案第8号 京田辺市介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について  
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等が改正されたことに伴い、関係する条例について所要の改正を行うもの

問 従業者の員数の基準や、管理者の職務専任規定が緩和される理由は。こういった緩和策は一方でサービスの低下が懸念されるのでは。

答 全国的なケアマネージャー等の人員不足に対応するため。市として各施設の運用面での支援を強化する必要がある。

## 委員会での審査結果

議案第5号については賛成全員で、  
その他の2議案は賛成多数で可決すべきものと決定



# 常任委員会の 審議内容

常任委員会は定例会において上程された議案等を審議・審査します。

本市議会には、総務常任委員会・文教福祉常任委員会・建設経済常任委員会があります。

LIVE 会議の様子を中継しています

京田辺市議会では会議の様子をインターネットで中継しています！  
録画配信も行っています。

京田辺市 議会中継



その**主な内容**について、お知らせします。  
※各委員長から提出された要約原稿を掲載しています。

スマートフォンでも視聴できますよ！



# 建設経済常任委員会

付託議案 議案 第1号・第2号・第9号  
第10号・第13号

## 主な質疑内容

●議案第1号 京田辺市太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例の制定について  
太陽光発電設備の設置及び維持管理に関して必要な事項を定めることにより、地域と調和する太陽光発電事業の普及を図り、併せて市民の安全で安心な生活を確保するため提案するもの

問 適切に管理がなされず放置されるのでは。

答 いつかは撤去されるため、事業者の責務を規定している。

●議案第2号 京田辺市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について

墓地等の経営の安定性及び持続性を確保するとともに、墓地等と周辺的生活環境との調和を図り、もって公衆衛生の向上と公共の福祉に寄与することを目的として提案するもの

問 本条例には火葬場に関する規定もあるが、そのような施設の整備計画があるのか。

答 現在のところそのような計画はない。

●議案第9号 京田辺市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律が改正されたことに伴い、同法を引用する本条例について所要の改正を行うため提案するもの

問 DV被害者の対応は。

答 入居時は、入居者選考委員会で申込み理由を十分に説明したうえで選考が行われている。また入居後は、事情に配慮した料金設定がなされ福祉部署との連携も図っている。

## 委員会での審査結果

付託された議案は全て賛成全員で可決すべきものと決定

●所管事務調査

「産業振興について」の調査報告書は京田辺市議会ホームページに掲載しています。



# 総務常任委員会

付託議案 議案 第3号・第4号・第6号  
第11号・第12号

## 主な質疑内容

●議案第6号 京田辺市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について

京都府において精神障害者に係る医療費助成制度が創設されることに伴い、所要の改正を行うもの

問 現行の市独自制度と今回の府による制度において、その対象者数はどのようになるのか。

答 従来対象者には変更なく、新規対象者の方々には個別に案内する。推計値として福祉医療制度で43名、重度心身障害者老人健康管理事業で11名程度の増加と考えている。施行時期は令和6年8月1日から。

●議案第12号 町の区域及び名称の変更について

京田辺市大住土地区画整理事業の施行に伴う土地の区画形質の変更により、町の区域及び名称を変更するため提案するもの

問 新町名決定の経過と、選定理由について

答 組合理事長・副理事長・理事をはじめ、区長等で構成する検討委員会において、藤の花言葉の「やさしさ」や「歓迎」といったことも踏まえ、藤ノ木という町名を委員全員で決定した。なお、事業者についても賛同された。本件の効力発生時期は、換地処分公告があった日の翌日。

## 委員会での審査結果

議案第4号については賛成多数で、  
その他の4議案は賛成全員で可決すべきものと決定

●所管事務調査

時事問題については能登半島地震を踏まえ、本市における防災減災対策について確認しました。また、2月2日（金）に、長岡京市恵解山古墳を視察し、本市天理山古墳群の保存と活用について、委員会の研鑽を深めました。今後継続して調査研究していきます。



議案第12号：当該地に建設中の物流施設イメージ図





# 審議の結果を報告します



議案番号等	件名	採決状況	議決結果
同意	1 京田辺市固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成	同意
	2 京田辺市固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成	同意
	3 京田辺市固定資産評価審査委員会委員の選任	全員賛成	同意
議案	1 太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例の制定	全員賛成	可決
	2 墓地等の経営の許可等に関する条例の制定	全員賛成	可決
	3 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	全員賛成	可決
	4 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	賛成多数	可決
	5 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成	可決
	6 福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	7 介護保険条例の一部改正	賛成多数	可決
	8 介護保険法に基づく指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	賛成多数	可決
	9 市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
	10 都市公園条例の一部改正	賛成多数	可決
	11 消防団員等公務災害補償条例の一部改正	全員賛成	可決
	12 町の区域及び名称の変更	全員賛成	可決
	13 京田辺市道路線の認定	賛成多数	可決
	14 令和5年度京田辺市一般会計補正予算(第8号)	全員賛成	可決
	15 令和5年度京田辺市一般会計補正予算(第9号)	全員賛成	可決
	16 令和5年度京田辺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成	可決
	17 令和5年度京田辺市介護保険特別会計補正予算(第2号)	全員賛成	可決
	18 令和5年度京田辺市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	賛成多数	可決
	19 令和6年度京田辺市一般会計予算	賛成多数	可決
	20 令和6年度京田辺市休日応急診療所特別会計予算	全員賛成	可決
	21 令和6年度京田辺市松井財産区特別会計予算	全員賛成	可決
	22 令和6年度京田辺市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決
	23 令和6年度京田辺市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決
	24 令和6年度京田辺市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	可決
	25 令和6年度京田辺市水道事業会計予算	賛成多数	可決
	26 令和6年度京田辺市公共下水道事業会計予算	賛成多数	可決
	27 令和6年度京田辺市農業集落排水事業会計予算	全員賛成	可決
	28 京田辺市税条例の一部改正	全員賛成	可決
発議	1 京田辺市議会委員会条例の一部改正	全員賛成	可決
意見書案	7 政治資金規正法の改正も含めた再発防止を求める意見書	全員賛成	可決

**賛否等の状況** 賛否が分かれた議案のうち、個々の賛否について掲載。(賛成:○、反対:×、欠席:一、退席:□、除斥:△)  
採決に参加しなかった場合"▼"で表しています。  
※河本隆志議員は議長職のため、表決権はありません。

議案番号等	議決結果	自民一新会					NEXT京田辺			日本維新の会・無所属南部の会				日本共産党京田辺市議会議員団			公明党		無会派	
		榎本昂輔	国重昂平	久保典彦	田原延行	橋本善之	片岡勉	河本隆志	菊川和滋	長田和也	有田幸平	上田毅	南部登志子	早川由紀夫	青木綱次郎	岡本亮一	増富理津子	河田美穂	向川弘	次田典子
議4	可決	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議7	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議8	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議10	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○
議13	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議18	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議19	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	□	○	○	×	○
議22	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議23	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議24	可決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議25	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	
議26	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	

来期の予定: ■定例会開会: 6月3日 ■一般質問: 6月7、13、14日 ■定例会開会: 6月27日  
 ■常任委員会(総務: 6月19日、文教福祉: 6月17日、建設経済: 6月18日)  
 ■議会運営委員会: 5月27、30日 6月21、25日 日程は変更になる場合があります。